

Ⅲ 分野別施策の基本的方向			関係省庁	平成25年度推進状況
(4) 文化芸術活動、スポーツ等の振興	3-(4)-1	障害者が地域において、文化芸術活動、スポーツに親しむことができる施設・設備の整備等を進めるとともに、障害者のニーズに応じた文化芸術活動、スポーツに関する人材の養成等の取組を行い、障害の有無にかかわらず、文化芸術活動、スポーツを行うことのできる環境づくりに取り組む。特に、障害者の芸術活動に対する支援や、障害者の芸術作品の展示等を推進するための仕組みを検討し、推進を図る。	文部科学省	<p>○障害のある人と障害のない人が地域において一体となってスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるようにするための実践研究を実施。</p> <p>○自治体や地域の美術館等が企画する障害者の芸術作品を展示・紹介等する事業に対する支援を実施。</p> <p>○子供たちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保することを目的とする「文化芸術による子供の育成事業」において、小学校・中学校等に障害のある芸術家を派遣。</p> <p>○厚生労働省と文化庁において、障害者の芸術活動に関して一層の支援を図るため、「障害者の芸術活動への支援を推進するための懇談会」を開催し、有識者による専門的な検討を実施。平成25年8月に中間取りまとめを取りまとめた。</p> <p>○障害者の芸術活動に対する国民の関心を高め、理解を深めることを目的として、平成25年10月、文部科学省情報ひろばにおいて、「～文部科学省におけるアール・ブリュット作品展～心がカタチをもつとき」を開催。</p> <p>○国立新美術館で「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」の開催。</p>
			厚生労働省	<p>○都道府県等が実施する地域生活支援事業において、スポーツ・レクリエーション教室開催事業を実施。</p> <p>○都道府県等が実施する地域生活支援事業において、文化芸術活動振興事業を実施。</p>

Ⅲ 分野別施策の基本的方向			関係省庁	平成25年度推進状況
	3-(4)-2	国立博物館、国立美術館、国立劇場等における文化芸術活動の公演・展示等において、字幕や音声案内サービスの提供等、障害者のニーズに応じた工夫・配慮が提供されるよう努める。	文部科学省	<p>○国立劇場や新国立劇場においては、障害者の入場料の割引を、国立美術館、国立博物館においては、展覧会の入場料の無料を実施。</p> <p>○東京国立博物館では、点字案内パンフレットの配布、国立美術館では、筆談対応可能な受付設置、国立劇場や新国立劇場では、一部の公演において字幕表示を導入。</p>
	3-(4)-3	障害者芸術・文化祭や全国障害者スポーツ大会の開催を通じて、障害者の文化芸術活動、スポーツの普及を図るとともに、民間団体等が行う文化芸術活動、スポーツ等に関する取組を支援する。特に、身体障害者や知的障害者に比べて普及が遅れている精神障害者のスポーツの振興に取り組む。	文部科学省  厚生労働省	<p>○全国の高校生が芸術文化活動の発表を行う祭典である全国高等学校総合文化祭において、特別支援学校の生徒による作品の展示や実演芸術の発表の場を提供。</p> <p>○東京都において第13回全国障害者スポーツ大会を開催。（平成25年10月12日～14日）</p> <p>○山梨県において、第13回全国障害者芸術・文化祭を開催。（平成25年12月6日～8日）</p> <p>○全国障害者スポーツ大会において、精神障害者競技としてバレーボールを実施。</p>
	3-(4)-4	パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス等への参加の支援等、スポーツ等における障害者の国内外の交流を支援するとともに、パラリンピック等の競技性の高い障害者スポーツにおけるアスリートの育成強化を図る。	厚生労働省	<p>○総合国際競技大会派遣等事業により、第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013、アジアユースパラ競技大会マレーシア2013、ソチ2014パラリンピック冬季競技大会への参加を支援。</p> <p>○総合国際競技大会指定強化事業により、パラリンピック等の競技性の高い障害者スポーツにおけるアスリートの育成強化を実施。</p>

Ⅲ 分野別施策の基本的方向	関係省庁	平成25年度推進状況
	3-(4)-5	聴覚障害者及び視覚障害者が映画を楽しむことができるよう、関係団体等の協力の下、日本語字幕の付与や音声ガイドの制作等のバリアフリー映画の普及に向けた取組を推進する。
		<p>厚生労働省 (経済産業省)</p> <p>○第13回全国障害者芸術・文化祭において、バリアフリー映画の上映を行う等のバリアフリー映画の普及に向けた取組を実施。<u>(厚生労働省事業)</u></p> <p><u>(参考)</u>  ○日本や海外の映画館におけるバリアフリー映画上映対応状況の事例や、障害者の映画視聴に関してどのような環境的制約があるか、また、どのようなニーズがあるか等について調査を行った。日本映画のバリアフリー対応について調査を行った結果、平成26年国内映画の公開数615本中、日本語字幕付き作品は66本、音声ガイド付き作品は6本であった。  また、平成26年度第27回東京国際映画祭において、音声透かしを使ったバリアフリー映画技術に関する実証実験を行った。<u>(経済産業省事業)</u></p>

（別表）３．教育，文化芸術活動・スポーツ等

事項	現状（直近の値）	目標	平成25年度
特別支援教育に関する個別の教育支援計画作成率	76.2％（平成24年度）	80％以上（平成29年度）	78.7％
特別支援教育に関する教員研修の受講率	72.1％（平成24年度）	80％以上（平成29年度）	73.1％
特別支援教育に関する校内委員会の設置率	85.6％（平成24年度）	90％以上（平成29年度）	86.5％
特別支援教育コーディネーターの指名率	86.8％（平成24年度）	90％以上（平成29年度）	87.1％